

蘇州の古い職業(2)

●鳥飼い 鳥を飼う人は、ふつうは趣味人で裕福な人です。鳥を飼うのを職業にしている人もいて、彼らは繁殖させた鳥を売買します。また中には小鳥を闘わせて賭けをする一種の「闘鳥」をする人もいます。鳥を飼う人には楽しみが多いでしょう。ただかごの中の鳥は苦しいでしょう。大城坊(ダーチョンファン)①にはとても多く見られます。

①大城坊は蘇州の中心地域にある地名。

养鸟人 养鸟的人一般都是玩家，有钱的人。也有当职业的，繁殖培养后做买卖生意，还有的利用一种斗雀鸟来赌输赢的。养鸟的人很有趣，只是苦了笼中之鸟。苏州大城坊一带甚多。



●筆作り 蘇州の「湖筆」は、筆を使う人で知らない人はいないというもので、これも蘇州の特産品で、今なお盛んで衰えてはいません。筆は狼毫と羊毫の種に分けられ、「狼毫」はイタチの毛で作られていてかなり硬く、「羊毫」は羊の毛で作られ柔らかい書き味です。良い筆は材料を選ぶのにかなり念入りで、緻密な作業をします。「梳く、結ぶ、蒸す、煮る、選ぶ、整える」など七十あまりの行程を経てやっと完成します。

做毛笔 苏州湖笔，弄点笔墨的人没有一个不知道的，也是苏州的特产，至今还兴盛不衰。毛笔分狼毫、羊毫。狼毫就是狼身上的毛做成的，比较硬；羊毫就是羊身上的毛制成的，毛软，好的毛笔选料比较讲究，操作精细，要经过梳、结、蒸、煮、择、装等七十余道工序才能完成。

●舞台衣装作り



蘇州でできる古典劇の衣装はとても有名です。絹の生産地であり、かつ技術が細やかなことから、全国各地の古典劇の衣装のほとんどは蘇州で、オーダーメイドで作られたものか、蘇州で仕入れられたものです。

做戏服 苏州出的“戏服”很有名，因为是丝绸之乡，而且工艺精到，因此全国各地的戏服大都来苏州定制或采购。



●つづれ織り

つづれ織りの歴史は長く、東洋人（日本）がとりわけ好んでいます。日本の女性が着る和服の帯がつづれ織りでできています。経糸（たていと）を基にして緯糸（よこいと）で各種の図案を織り完成させます。つづれ織りは気高く優雅で、古代の皇帝の竜の模様入りの長着、それらがつづれ織りでできているのです。

缂丝 缂丝历史悠久，东洋人（日本）尤为喜欢。日本妇女身背着的和服腰带，就是缂丝产品。就是在经线基础上，用纬线来完成各种图案织出的布。她高贵、典雅，古代皇帝的龙袍，就是缂丝产品。

●表装 呉(江蘇の南部・上海市・浙江)の文化は長い歴史を持ち、傑出した人物を輩出していることで有名です。何代も続いた名職人も多くいます。優れた表装師は「死にかけていたものを生き返らすこと」ができます。つまり腐った画紙にも元に戻すことができるほど。すぐれた書画にはすばらしい表装がなければなりません。これが「絵が三分、表装が七分」と言われているゆえんです。

书画装裱 吴门文化历史悠久，人杰地灵，人才辈出。能工巧匠甚多，一代又一代。好的装裱师能“起死回生”，就是很腐烂的画纸，也能把它恢复原貌。一件好的书画作品，离不开精制的装裱，人们常说：“三分画，七分裱”就是这个道理。



●春聯書き 年越しの時が来たら、おめでたい雰囲気を作らなければなりません。旧年に別れを告げ新年を迎え、来年も無事に過ぎてお金がもうかりますようにと、望みます。門の上にひと組の赤い春聯①を貼り、新しい年に幸運が来ますようにという気持ちを表します。昔は多くの家で文字の書けない人が多かったので、年末には筆で文字が書ける「文化人」が春聯を代わりに書いてやり、小銭を稼いでいました。

①春聯とは中華圏における春節の風習の一つで、赤い紙に縁起の良い対句を書いたものをいい、家の入口などに貼る。

写春聯 过年了，总要弄得喜气洋洋，辞旧迎新，企盼明年过得好，收益好。门上总要贴上一幅大红对联，以示新的一年开始了，好运将会到来。旧时多数人家没有文化，因此年前一些弄文舞墨的“文化人”代写春聯，赚一些小钱。

●**桃花塢**（蘇州にある地名）の**木版年画** 「北に楊柳青(ヤンリウチン)有り、南に桃花塢(タ
オファウー)有り①」。桃花塢の年画は国内外で人気があります。木版画の年画はまず木板
にもよるを線彫りし、墨を付けて紙に転写し、墨彩で色を付けて絵を完成させるという
洗練された工芸技術を用いたものです。その昔一時的に桃花塢の年画が廃れかけました
が、大画家唐伯虎②が現れたことで、かなりの「虎の威を借りて」光を取り戻しました。

①楊柳青は天津にある地方の名で、蘇州の桃花塢と同じように年画で有名。

②唐伯虎（唐寅）は明代に活躍した蘇州出身の画家、書道家、詩人。

桃花塢木刻年画 “北有楊柳青，南有桃花塢”。桃花塢木刻年画享誉海内外。
所谓木刻年画就是先以木板雕刻出画面的线纹，然后用墨印在纸上，再用彩墨填绘，
工艺考究。当时的桃花塢年画风靡一时，再加上桃花塢出了个大画家唐伯虎，那桃
花塢年画由此也借了不少光。



●**灯籠売り** 正月の元宵（小正月）は賑わい、灯籠売りは最盛期です。その日の夜は
老いも若きも外に出て、灯籠を見て「猜灯谜」①をします。光の海となり、灯籠作りの
人たちが待ち望んだ一日がやってくるのです。

①猜灯谜とは、灯籠やちょうちんの上になぞなぞを書いて当てさせる遊び。

卖灯笼 正月里闹元宵，卖灯笼最火红。那天夜里老老少少都出门，看灯笼，猜
灯谜。一片灯的海洋，做灯笼的人一年就是盼这一天的到来。

●**棕棚(ズンボン)の修理** 「やぶれた棕棚、なおしますーす！」という、まるでテノール歌手のような音が通りのあちこちを行きかっていたいました。棕棚は現在のマットレス、ベッドマットのようなもので、柔らかく弾力性があり、しゅろの繊維を用いて作られています。長く使っていると繊維が切れ、切れたところが大きくなると大きな穴ができます。修理しなければ捨てるしかありませんから、このときに新しいしゅろの繊維で修理するのです。

修棕棚 “坏的棕棚修作”，声音好象男高音，穿梭于大街小巷，“棕棚”就象是现在的床垫、床板，它软有弹性，是用一种棕线穿成的，用得时间长了，有的棕线就会断，断多了就会变成一个大窟窿，不修的话就会废掉，此时就要补上新的棕线。



●**綿(わた)打ち** 綿は昔も今も保温に役立つものです。一種の木であり、開いた花が綿花なのです。人々はそれを摘みとって加工し、綿入れの上着、綿入れのズボン、綿入れの掛布団、綿毛布、綿入れの防寒靴など、いろいろな暖かいものをつくることができます。綿毛布は寝具で、体の下に敷くと保温の効果があります。古くなって保温力がなくなると、綿を買って綿打ち屋さんのところに行って、打ち直してもらいます。こうすると安上がりで、混じりけのない本物が得られます。

綿打ちの時に出る音はとてもしずみカルで周傑倫(チョウジェレン) ①が扱う三節棍②にひけをとれません。

①周傑倫は台湾出身の歌手、俳優。

②三節棍は長さ 50～60cm、太さ 4～5cm の 3 本の棒をひもや鎖、金属環などで一直線になるように連結した武器。

弾棉花 棉花是古今一直是作为保暖的一种物品。它来自一种树，就是棉花树，它开的“花朵”就是棉花。人们采摘下来进行加工，可以做成各种保暖用具，如棉袄、棉裤、棉被、棉毯、棉鞋等，棉毯是床上用品，起到身体下方的保暖作用，有的旧了，保温就不好了，买些棉花，请师傅去加工一下，这样便宜多了，又真材实料。弹棉花时发出的声音，很有节奏感，不亚于周杰伦的“三节棍”。

●占い 占いは千年絶えない職業です。人々は往々にして目の見えない人の占い（算命①）を信じますが、実際は盲目のふりをしている人もいて、魚雑混珠②です。彼らはあなたの心理をつき、お金をだまし取ります。占い(拆字③)は盲目を装う人にはできません。長い丈の中国風上着を着ると、学問がありそうで、優雅に装い、立て板に水のように話し、貧富貴賤や吉凶禍福、未来を占うなんて、これはもう神さまです！

①算命は生年月日を陰陽五行に当てはめて吉凶禍福を判断する占い。

②魚雑混珠は、にせものが本物のふりをする、という意味の成語。

③拆字は名前の漢字の偏やつくりを分解し、その意味から占う方法。

算命拆字 千年不绝的行当，人们往往相信瞎子算命，其实有的是假扮的，鱼杂混珠，揣摩你的心理，骗钱而已。拆字，就不能假扮瞎子了，长衫着身，就有学问，一幅斯文打扮，口若悬河，贫富贵贱、吉凶祸福、未卜先知，乃神仙也！



●帳房先生 帳房先生は現在の「会計士」「出納係」にあたるもので、普通、お金持ちや地主は彼らを雇っていました。帳房先生は雇い主にとっては非常に重要な存在で、大部分は親戚あるいはよく知っている人がなっていました。時には主人から「紅包①」を受け取り「帳房(帳房先生の執務室)に行ってくれ」と命じられた召使いが、「紅包」を帳房先生のところに持って行くということもありました。帳房先生は公的な帳簿をつける以外にも、税金逃れの対策ができました。今でもこの伝統を受け継いでいる会計士もいます。

①紅包とは本来は「ご祝儀」の意味だが、非公式に渡される規定外の報酬を指すこともある。

帳房先生 帳房先生就是现在的“会计”、“出纳”，一般富豪、地主家都雇用，帐房先生在主人眼里很重要，大都是亲戚或熟人，有时下人领红包，主人吩咐一下去“帐房领去”，就是到帐房先生那儿，帐房先生除了做好他的公开帐簿外，还要会避税法。现在有的会计继承了这一传统。